

8月3日（月）全校朝会

まず、はじめに元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。
今週は、金曜日に終業式あるため、ホームページのみの全校朝会です。

先週、校庭の木でこのようなものを見付けました。これが何か分かりますか。そうです。これはセミの抜け殻です。セミの抜け殻が見つかったということは、もうセミが木にとまって鳴いているということですね。セミの鳴き声を聞いた人はいますか。セミの鳴き声を聞くといよいよ夏がやってきたなという気がします。



さて、皆さんも木にとまっているセミを見たことがあると思いますが、セミは、この姿になってからは2・3週間で、その一生を終えてしまうのです。2・3週間の命と聞くととても短い気がしますね。しかし実は、セミは昆虫の中ではとても長生きする昆虫なのです。なぜかという、このセミの姿になる前、つまり幼虫として土の中で暮らしている期間が長いからなんです。



では、クイズです。セミは幼虫として土の中でどれくらいの間過ごしているでしょうか。

- 1 番 6 週間 だと思ふ人手を挙げてください。
- 2 番 6 か月間 だと思ふ人手を挙げてください。
- 3 番 6 年間 だと思ふ人手を挙げてください。

正解は、3 番の 6 年間です。

小学 1 年生が 6 年生になって卒業するまでの間、ずっと幼虫として土の中で過ごしているのですから、やはり長いですね。そして、やっと地上に出て、大人になったと思ったら2・3週間ほどで死んでしまうのです。セミは、この2・3 週間で全力で生きています。なぜなら、この間に、結婚相手を探して、卵を産まないといけないからです。オスのセミは、結婚相手を探すために一生懸命鳴きます。メスのセミは鳴かないのです。そして、無事に結婚相手が見つかったセミは、卵を産んだ後、死んでしまいます。

このようなことを知ると、セミの鳴き声を聞いても、これからは、「うるさいなあ」というだけではなく、「頑張れ」と応援する気持ちになりませんか。

今週で一学期が終わります。今年の夏休みは、2 週間です。地上に出てきたセミの一生と同じぐらいの長さです。短いと感じるでしょうか、それとも2 週間でもやれることがたくさんあると感じるでしょうか。セミと同じように夏休みで力尽きてしまっは困りますが、充実した夏休みにしてほしいと願っています。

今日は、セミの一生と2 週間の夏休みについての話をしました。お話を終わります。
気を付け、礼